

平成31年2月市議会総務委員会資料

第9号議案 平成31年度長崎市一般会計予算

目次

1	救急業務費	1～3ページ
2	団員加入促進費	5～6ページ
3	【補助】消防車両等整備事業費 消防ポンプ自動車整備ほか	7～8ページ
4	【単独】消防車両等整備事業費 消防ポンプ自動車整備ほか	9～11ページ
5	【単独】消防機器整備事業費 総合消防情報システム更新	13～15ページ
6	【単独】消防施設整備事業費 消防団格納庫建設ほか	17～18ページ
7	【単独】消防施設整備事業費 防火水槽整備ほか	19～20ページ

消 防 局

平成31年2月

予 算 説 明 書					事 業 名	予 算 額
ページ	款	項	目	番号		
270～ 271	9 消防費	1 消防費	1 常備消防費	3-4	救急業務費	千円 17,896

1 概 要

救急業務に必要な資機材等の購入及び救急活動に関する各種業務委託や広報・啓発活動を行うもの。

2 事業内容

(1) 予防救急の啓発【拡大分】

ア 事業費 130千円

イ 目的

高齢者の怪我や病気、また火災や災害による被害を未然に防ぐため、予防救急などの啓発に取り組むもの。

ウ 内容

広く市民に予防救急や防火防災意識を広めるため、「消防かるた」をもとにポスターを作成し、老人福祉施設等に掲示する。

エ 作成数及び配布予定

施設分類名	長崎市	長与町	時津町	計
老人福祉施設	497	75	58	630
ふれあいセンター・市民センター、大型・地区公民館等	242	0	0	242
小学校・中学校・高等学校	125	9	7	141
その他	136	16	35	187
合計	1,000	100	100	1,200

(2) 救急活動経費(消耗品費)

ア 事業費 12,614千円

イ 内容

救急活動に必要なAED用電極パッド、心電図測定用電極、感染防護用具等の購入

(3) 救急活動指示等委託

ア 事業費 2,190千円

イ 内容

救急現場で救急救命士に対する医師による指示、指導や活動後の助言を受けるための業務委託及び医療廃棄物等の処理委託

(4) その他

ア 事業費 2,962千円

イ 内容

救急用資機材の購入、救急活動記録票等の印刷、救急救命士賠償責任保険料等

3 財源内訳

事業費	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他※	一般財源
千円	千円	千円	千円	千円	千円
17,896	—	—	—	5,761	12,135

※ 消防事務委託町負担金 3,312千円

高速自動車道支弁金 2,449千円

4 これまでの事業経過

(1) 平成29年度 絵本作成



絵本の読み聞かせ風景



(2) 平成30年度 紙芝居作成



消防かるた作成





日常に潜む危険を 防止しよう！！



長崎市消防局



QRコードから絵本、紙芝居、消防かるたの
閲覧・貸出場所を見ることができます。



「消防かるた」

高齢者や子供が火災や救急搬送されるような危険を防止するための方法を遊びながら楽しく理解することができるかるた



「ゆういち」

長崎市に住む男の子、
将来の夢はレスキュー隊員！？



「ニャンとパウ」

ゆういち君と暮らす猫と犬
お留守番がとっても苦手



「キューイチ」

長崎市消防局のレスキュー隊
員おうちに潜むアブナカたちを
察知して未然に防ぐヒーロー



「アブナカ」

おうちの危ない場所に潜むとい
われる謎のキャラクター

予 算 説 明 書					事 業 名	予 算 額
ページ	款	項	目	番号		
270～ 271	9 消防費	1 消防費	2 非常備消防費	1-7	団員加入促進費	千円 4,223

1 概 要

地域の防火防災の要である消防団への加入促進に取り組むもの。

2 事業内容

(1) 団員募集広報【拡大分】

ア 事業費 2,908千円

事項名	事業費
消防団PR動画作成費	2,268千円
消防団加入促進イベント費	450千円
加入促進用エア一看板購入費	190千円

イ 目的

企業や大学と連携した加入促進イベントを行うことなどにより、若い世代の入団促進を図る。

ウ 内容

- ・若い世代の消防団員を中心に構成した消防団員加入促進チームを結成し、そのネットワーク及び情報発信力を活かした活動を通して入団促進を図る。
- ・「学生」や「社会人」をテーマにした消防団PR動画を作成し、地域でのイベント、成人式、高校生への消防団講話などで上映するほか、SNSを活用した広報を実施する。
- ・大学内のイベント会場で動画の上映及び大学生と地元企業で働く消防団員によるパネルディスカッション等を実施する。
- ・長崎市内の各商工会で講演会を実施する。
- ・エア一看板を市内各地で開催されるイベントや消防署に展示し、団員募集の周知を図る。

(2) その他

ア 事業費 1,315千円

イ 内容

団員募集ポスター作成、団員募集チラシ印刷、消防団協力事業所拡大にかかる経費等

3 財源内訳

事業費	財 源 内 訳				
	国庫支出金※	県支出金	地方債	その他	一般財源
千円 4,223	千円 4,031	千円 —	千円 —	千円 —	千円 192

※ 企業・大学等との連携による女性・若者等の消防団加入促進支援事業 4,031千円

4 団員加入促進費(拡大分)

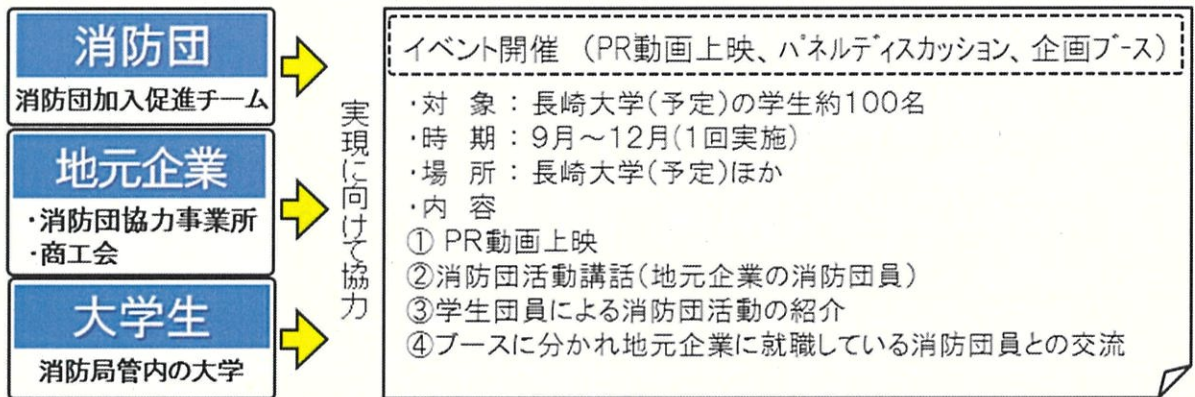
(1) 消防団PR動画



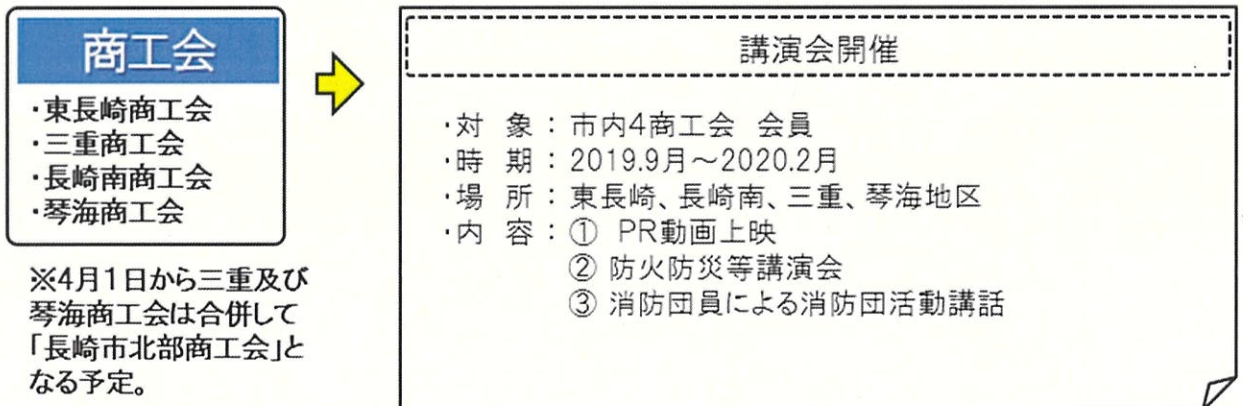
(イメージ)

(2) 消防団加入促進イベント

ア 大学等と連携した加入促進イベントの実施



イ 各商工会での講演会の実施



(3) 加入促進用エアーカー看板

現在の活用例

・イベント参加(画像は「デジマ博」)



・消防庁舎前への設置(夜間点灯)



予 算 説 明 書					事 業 名	予 算 額
ページ	款	項	目	番号		
272～ 273	9 消防費	1 消防費	3 消防施設費	2-1	【補助】消防車両等整備事業費 消防ポンプ自動車整備ほか	千円 38,100

1 概 要

現在配置している老朽化した消防車両及び機器を代替更新するもの。

2 事業内容

事 項 名	数量	配 置 場 所 等	経過年数	事 業 費
高規格救急自動車	1台	中央消防署	7年	31,000千円
		高度救命処置用資機材 ・ 気道確保用資機材一式 ・ 自動体外式除細動器(AED) ・ 心電計 等		
貨物車(緊急車)	1台	消防局警防課	24年	5,050千円
広報車(緊急車)	1台	北消防署	19年	2,050千円
合 計				38,100千円

3 財源内訳

事 業 費	財 源 内 訳				
	国庫支出金※1	県支出金※2	地方債※3	その他	一般財源
千円 38,100	千円 14,281	千円 6,725	千円 15,900	千円 —	千円 1,194

※1 緊急消防援助隊設備整備費補助金

※2 石油貯蔵施設立地対策等補助金

※3 一般補助施設整備等事業債 充当率90%(12,800千円)

一般単独事業債 充当率90%(3,100千円)

4 消防車両等の概要

(1) 高規格救急自動車

救急救命士による高度な処置を行うことができる装備を有した救急自動車



(2) 貨物車(緊急車)

災害現場に消防ホースや救助資機材等を搬送する車両



(3) 広報車(緊急車)

消防広報のほか、道路狭隘な場所へ消防資機材を搬送する多目的な小型車両



(写真については、現在配置されている車両及び購入予定の車両をモデルとして掲示)

予 算 説 明 書					事 業 名	予 算 額
ページ	款	項	目	番号		
272～ 273	9 消防費	1 消防費	3 消防施設費	3-1	【単独】消防車両等整備事業費 消防ポンプ自動車整備ほか	千円 47,700

1 概 要

現在配置している老朽化した消防車両及び機器を代替更新するもの。

2 事業内容

事 項 名	数量	配 置 場 所 等	経過年数	事 業 費
消防ポンプ自動車	1台	第29分団2部(古賀町)	24年	17,500千円
小型動力ポンプ付 積載車	6台	【普通積載車】 第46分団2部(伊王島町1丁目)	23年	5,000千円
		【軽積載車】 第24分団3部(福田本町)	23年	13,500千円
		第32分団2部(太田尾町)	22年	
		第38分団2部(深堀町4丁目)	22年	
		第40分団2部(京泊3丁目)	23年	
		第49分団1部(脇岬町)	23年	
小型動力ポンプ	6台	第25分団3部(手熊町)	21年	10,200千円
		第36分団3部(磯道町)	22年	
		第38分団2部(深堀町4丁目)	22年	
		第46分団2部(伊王島町1丁目)	23年	
		第49分団1部(脇岬町)	21年	
		第50分団1部(野母町)	23年	
自動体外式除細動器 (AED)	3器	北消防署(2器) 南消防署(1器)	8年	1,500千円
合 計				47,700千円

3 財源内訳

事 業 費	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債※	その他	一般財源
千円 47,700	千円 —	千円 —	千円 44,800	千円 —	千円 2,900

※ 緊急防災・減災事業債 充当率100% (32,500千円)

施設整備事業債 充当率5.5/10 (6,800千円)

過疎対策事業債 充当率100% (5,500千円)

4 消防車両等の概要

(1) 消防ポンプ自動車

消火栓や防火水槽等から吸水し放水することができる消防自動車



(2) 小型動力ポンプ付積載車

小型動力ポンプ及び消火活動用資機材を積載する消防自動車

【普通積載車】



【軽積載車】



(3) 小型動力ポンプ

消火栓や防火水槽等から吸水し放水することができる可搬式の消防ポンプ



(4) 自動体外式除細動器(AED)

傷病者の心臓の動きを自動解析し、必要に応じて除細動(電気ショック)を行い、心臓の動きを正常に戻すための機器



(写真については、現在配置されている車両及び機械器具をモデルとして掲示)

予 算 説 明 書					事 業 名	予 算 額
ページ	款	項	目	番号		
272～ 273	9 消防費	1 消防費	3 消防施設費	4-1	【単独】消防機器整備事業費 総合消防情報システム更新	千円 434,400

1 概 要

平成19年3月から運用している総合消防情報システムについて、機器類の経年によるシステム障害を回避し安定運用を図るため、現行システムと同等機能のシステムを現在と同じ場所に再構築するもの。

2 事業内容

年 度	内 容	事 業 費
平成30年度(2018年度)	実施設計	13,415千円
平成31年度(2019年度)	システム再構築工事	434,400千円
平成32年度(2020年度)		713,448千円
—	小 計	1,147,848千円
平成33年度(2021年度)	運用開始	—
—	合 計	1,161,263千円

3 財源内訳

事 業 費	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債※1	その他※2	一般財源
千円 434,400	千円 —	千円 —	千円 412,600	千円 18,637	千円 3,163

※1 合併特例事業債 充当率95%

※2 消防事務委託町負担金

4 債務負担行為

9款 消防費 1項 消防費 3目 消防施設費

期 間	限度額	財 源 内 訳				
平成32年度 (2020年度)	千円 651,415	国庫支出金	県支出金	地方債※1	その他※2	一般財源
		千円	千円	千円	千円	千円
		—	—	618,800	27,959	4,656

※1 合併特例事業債 充当率95%

※2 消防事務委託町負担金

5 新たに導入する機能

(1) NET119緊急通報システム

聴覚・言語機能障害者等が、スマートフォン等を用いて音声によらない緊急通報を行うことができるシステム

〔スマートフォン画面のイメージ〕



(2) 消防団への地図機能付きメールによる順次指令

災害発生時の消防団への出動指令について、災害現場地図のURLが添付されたメールを送信

〔メール画面のイメージ〕



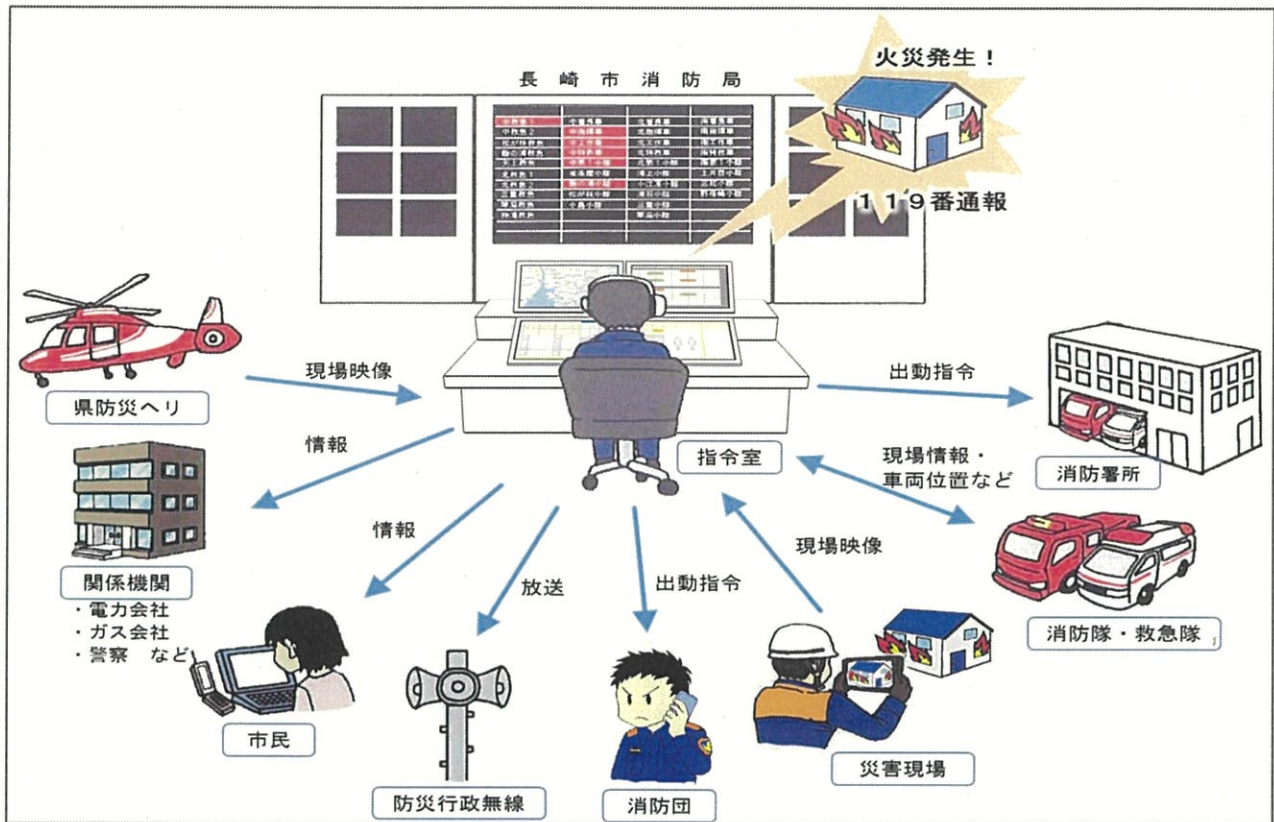
6 総合消防情報システムの概要

次の3つのシステムを相互に連携することにより、災害時において効果的な情報管理と迅速な部隊運用を行うとともに、効率的な業務運営を支援するもの。

(1) 高機能消防指令管制システム

119番通報の受付、出動指令、部隊運用、災害現場への情報支援等の一連の指令管制業務を行うためのシステム。119番通報の発信位置情報通知、GPSを用いた消防・救急車両の動態管理、出動隊の自動編成機能等を活用することにより、迅速かつ的確な災害対応が可能となる。

[イメージ図]



(2) 消防情報支援システム

警防業務、予防業務、届出業務等の情報を一元管理し、消防・救急活動時に有効な情報として活用することを主眼としたシステム。活動時に登録されたデータを基にした報告書作成、統計業務のほか、通常業務を支援し、効率的な業務運営が可能となる。

(3) 防災情報システム

市災害対策本部、総合事務所災害対策本部及び各部局において迅速な災害対応を行うために、必要な情報を共有化して防災活動の支援を行うほか、避難所情報の管理や職員参集の通知等を行うためのシステム。

7 システム構成

高機能消防指令管制システム	消防情報支援システム	防災情報システム
(1) 指令台 (2) 自動出動指定装置 (3) 地図等検索装置 (4) 指令制御装置 (5) 署所端末装置 (6) 表示盤 (7) 順次指令装置 (8) 車両運用管理装置 (9) 位置情報通知装置 (10) 現場映像伝送装置 (11) 防災行政無線連動装置 (12) NET119・FAX119・メール119受信装置	(1) 警防業務管理 ア 災害・救急事案管理 イ 消防水利管理 (2) 予防業務管理 ア 防火対象物管理 イ 危険物施設管理 ウ 訓練指導・講習会管理 (3) 届出業務管理 道路・停水・火煙情報 (4) 車両・資機材管理	(1) 災害受付管理 (2) 活動状況管理 (3) 避難所管理 (4) 防災情報提供 (5) 職員参集一斉通知 (6) 統計管理 (7) 基礎情報管理

予 算 説 明 書					事 業 名	予 算 額
ページ	款	項	目	番号		
272～ 273	9 消防費	1 消防費	3 消防施設費	5-1	【単独】消防施設整備事業費 消防団格納庫建設ほか	千円 33,000

1 概 要

地域防災の拠点となる消防団格納庫の充実を図るため、老朽化した格納庫を整備するもの。

2 事業内容

事 項 名	場 所	構 造 等
消防団格納庫建設(第65分団)	琴海戸根町2798-1	木造平屋建て 約100㎡

3 財源内訳

事 業 費	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債※	その他	一般財源
千円 33,000	千円 —	千円 —	千円 31,100	千円 —	千円 1,900

※ 施設整備事業債 充当率 5/10(16,300千円)

一般単独事業債 充当率 90%(14,800千円)

4 格納庫建設予定位置図



5 既存格納庫の現状

名称	建築年(経過年)	構造等
消防団第65分団	昭和50年10月(43年)	鉄骨造平屋建て(46.00㎡)

【既存格納庫 現状写真】



予 算 説 明 書					事 業 名	予 算 額
ページ	款	項	目	番号		
272～ 273	9 消防費	1 消防費	3 消防施設費	5-2	【単独】消防施設整備事業費 防火水槽整備ほか	千円 13,800

1 概 要

火災対応を迅速に行うため、消防水利が希薄な地域への防火水槽の設置及び既設防火水槽に補水するための給水装置を整備するもの。

2 事業内容

事 項 名	場 所	事 業 費
防火水槽20t級 1基(給水装置付)	多以良町(垣内地区)	12,500千円
防火水槽給水装置 2箇所	琴海大平町、琴海形上町	1,300千円
合 計		13,800千円

3 消防水利の現況

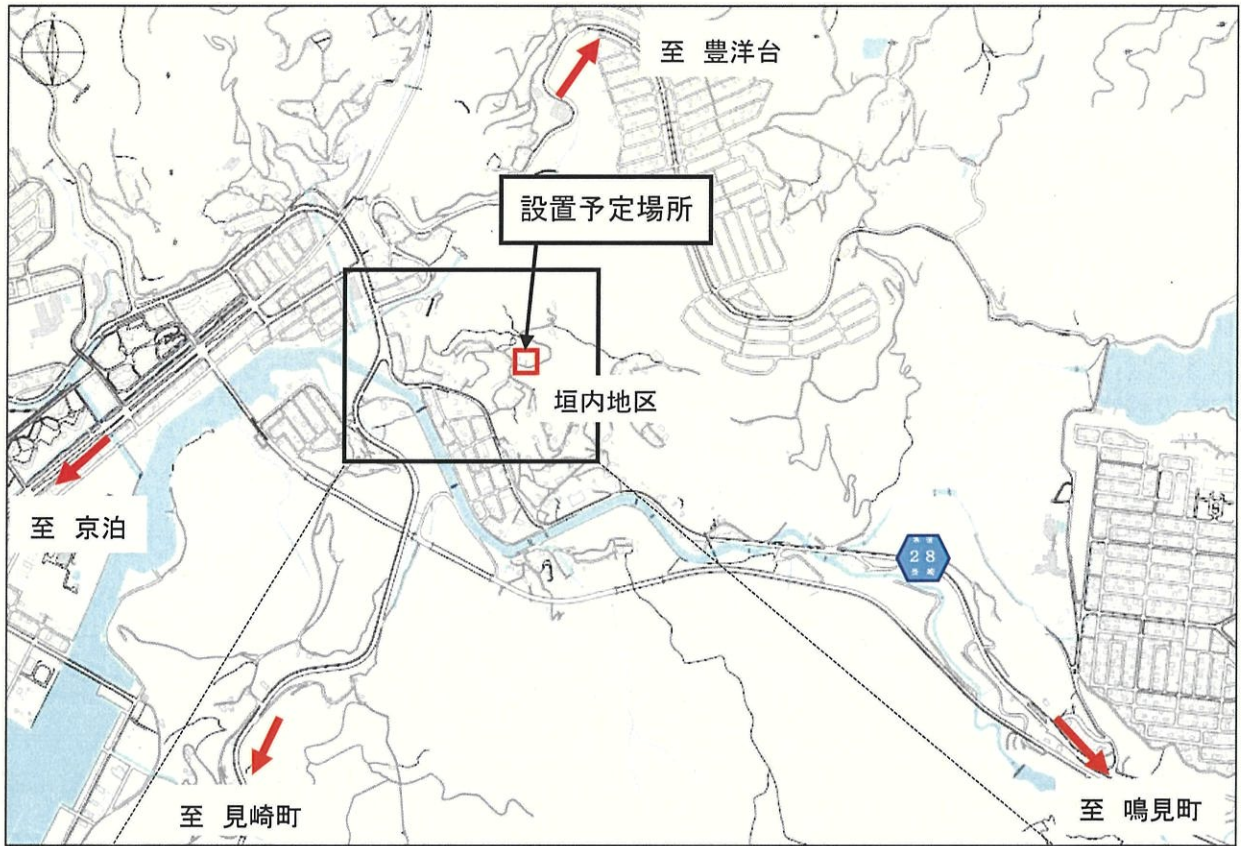
種 別	公 設	私 設	合 計
消 火 栓	3,884基	256基	4,140基
防 火 水 槽	1,303基	196基	1,499基
その他の水利(プール等)	—	—	170箇所

4 財源内訳

事 業 費	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債※	その他	一般財源
千円 13,800	千円 —	千円 —	千円 13,800	千円 —	千円 —

※ 緊急防災・減災事業債 充当率100%

5 防火水槽設置予定位置図



〈詳細図〉

